多職種コンサルテーションチームについて

医療技術の進歩等を背景に、NICU等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たん吸引や経管栄養等を必要とする医療的ケア児が全国的に増加しています。

県では、医療的ケアが必要な子どもたちやその家族が青森県内のどこに住んでいても安心して生活ができ、充実した医療・福祉・保育・教育等を受けられる環境を整備し、医療的ケア児の支援体制を促進していくため、令和２年度から医療・保健・福祉・保育・教育分野での多職種の専門家で構成するコンサルテーションチームで活動しています。

多職種コンサルテーションチームは、医療的ケア児を支援する医療機関、福祉施設及び教育機関等と連携して、問題点を把握、改善策を検討し、必要な支援を提案・フォローしながら医療的ケア児とのその家族を支援する皆様をサポートしています。

コンサルテーションチームからのメッセージ

医療的ケアが必要なお子さんが、住んでいる地域で、家族や友達と遊び、体験し勉強する事は、とてもかけがえのない経験です。

どんな支援や連携があれば、実現できるのか、一緒に考えていきましょう。

コンサルテーションチームの活動日

コンサルテーションチームでの支援・技術指導の実地での対応は、原則 水曜日と金曜日です。（メールでの相談は随時、受付ております。）

相談受付窓口

担当　青森県健康福祉部障害福祉課
社会参加推進グループ
田中・岩谷（いわや）

☎ 017-734-9309

✉ iryoteki_careji@pref.aomori.lg.jp

令和３年度青森県医療的ケア総合支援事業

青森県医療的ケア児支援体制

多職種コンサルテーションチーム

ご案内

どんな相談に対応できますか？

医療的ケア児とその家族を支援する関係機関（支援者）の様々な相談に応じています。

対応事例

在宅移行支援

【支援先】医療機関　等

- NICUからの退院に向けて、主治医、看護師、MSW等院内関係者とのケース会議、院内での相談支援体制整備の支援、障害福祉サービス利用や家族支援がスムーズに行えるよう相談支援専門員の介入、家族支援について助言
- 在宅移行に向けた外泊の試行、病棟看護師等と自宅訪問し、ベッドサイド等の機器の位置の確認や手技の確認、市町村担当や障害福祉サービス担当者等とのカンファレンス等

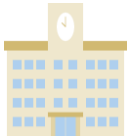
受入支援

【支援先】保育所、児童発達支援センター、市町村　等

- 主治医との連携（施設での受入のための指示書作成・カンファレンスへの参加依頼）、家族、主治医、障害福祉サービス担当者や市町村担当者等とのケース会議、施設訪問による現状確認、受入に向けた体制、手技の確認等受入後の施設訪問による状況確認及びフォロー
- 受入にあたっての課題や問題点の整理、利活用できるサービスや制度等について市町村等への助言や情報提供等

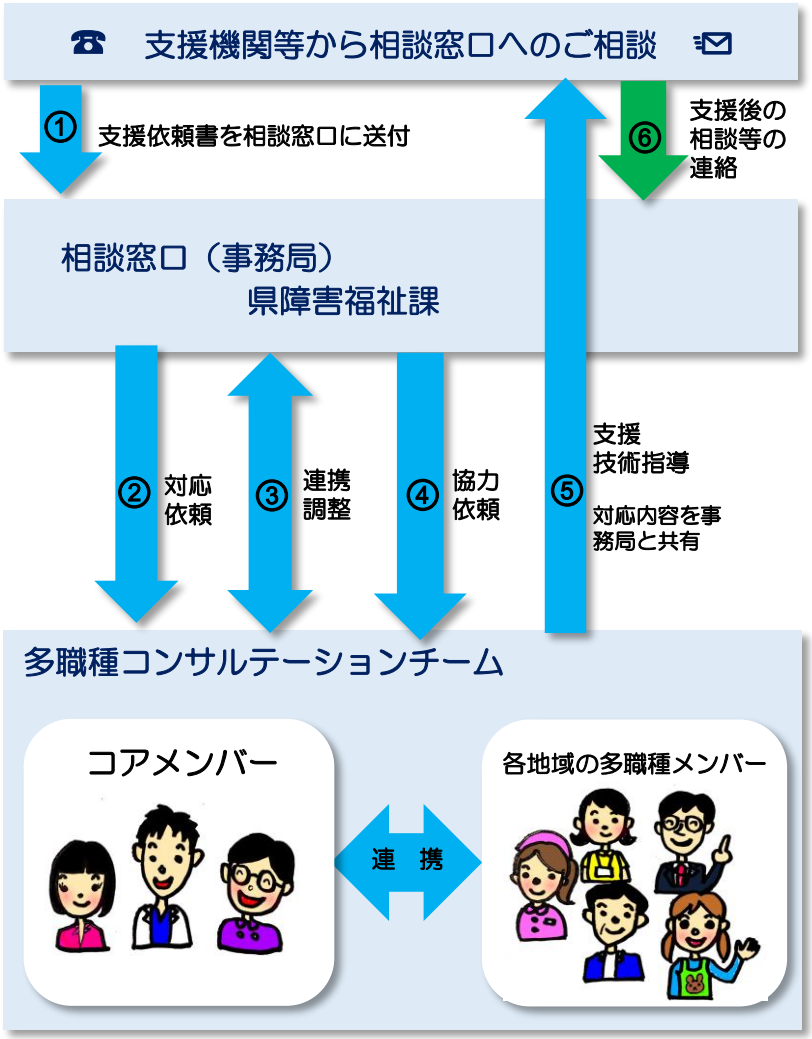
教育との連携

【支援先】特別支援学校　等



- 学校現場での医療的ケア対応方法を検討するため、家族、主治医等医療従事者、養護教諭・学校看護師等、障害福祉サービス担当者、市町村保健師等とのケースカンファレンスを随時開催し、多職種の連携体制を整備
- 卒業後の自宅以外の居場所づくりのため、県・市町村保健師、障害福祉担当者等関係者によるケース会議、自宅や受入施設の訪問、頻回な喀痰吸引を軽減するための対応策や受入施設での対応等の支援（自治体で施設利用に向けて条例改正）

相談対応の流れを教えてください



ご利用に当たっての留意事項

- 御相談は、相談窓口（事務局）障害福祉課に御連絡ください。
- 対応後の継続的な相談等につきましても相談窓口（事務局）障害福祉課に御連絡下さい。